

ネパール講座-姉妹都市カトマンズとヒマラヤの大自然-

第一部 ネパール・カトマンズの歴史と世界的文化遺産&庶民の生活

第二部 ヒマラヤを仰ぐトレッキングの魅力と注意

—MHC エベレスト撮影紀行・ネパール文化紀行&カトマンズ訪問から—



世界文化遺産カトマンズ旧王宮から望む市街 買い物帰りの若奥さん エベレスト 8848mを仰ぐトレッキング
撮影 鈴木 雅則

主 催 松本市海外都市交流委員会カトマンズ部会 TEL34-3220

日 時 令和7年10月7日(木) PM6:30~8:30

会 場 松本市中央公民館(Mウィング)3F・3-2 TEL32-1132

講 師 松本市海外都市交流委員会 顧 問

NPO 法人松本ヒマラヤ友好会理事長 鈴木 雅 則



シャー・カ市長

松本市海外都市交流委員会カトマンズ部会の令和7年度のネパール講座として、
第一部・カトマンズの歴史、世界文化遺産、して庶民の生活と市民交流活動

ネパールでは、2008年に王制廃止、2015年9月20日新憲法が制定され、2回目の地方総選挙が2022年に実施され、Balendra Shah (バレンドラ・シャー) カトマンズ新市長が選出されました。ネパールの各都市では、新首長の元、新しい街づくり、国づくりが行われております。

カトマンズの庶民生活は、物質的には恵まれないながらも、信仰深く素朴な生活しておりますが、等しく貧しいため、「ランドセル」もなく学校へ通う生徒も多く、ランドセルを寄贈する市民活動が「PUR 代表 八木下」により、新聞紙上などで松本市民に呼び掛けたところ、300個のランドセルが八木下さんのもとへ集まりました。早速100個ほどは、カトマンズの学校へ郵送にて寄贈することができ、八木下代表は現地へ行って確認してきました。

この活動の経過を「PUR 代表八木下 泉」さんより、報告してもらいます。

第二部・エベレストを仰ぐ、「トレッキングの魅力と注意」を講演します。

姉妹提携以来8回実施した市民参加のMHC エベレスト撮影紀行からの資料も使い、エベレストトレッキングなどを、わかりやすく解説、講演します。

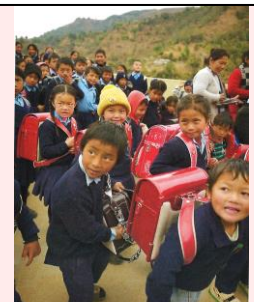
鈴木講師が、5400mから6600mまでのヒマラヤ登山に導いた市民参加者は、延べ180余名になり、安全登山には定評があります。

その経験から、安全登山の知識と登山経験を学ぶMHC登山講習(松本市共催)を日本の中部山岳で実施。参加者は延べ7000名に達し、全ての参加者は、目的の登頂を果たし事故は一度も起こしたことはありません。

このネパール講座に、現ネパール特命全権大使夫妻が聴講者として、ご出席していただくことになりました。この日東京から大使館の車で、直接、この会場にお越しられます。光栄な事。温かく拍手でお迎えしたい。



PUR・八木下代表



ランドセルを喜ぶ
学校生徒たち



エベレスト街道に行く